

New! 快洗隊 3店舗が、堂々オープン!

快洗隊足立店 8月27日(木)オープン

東京都足立区に快洗隊足立店がオープンしました。東京都内では他に板橋店・八王子店の2店舗を展開しており、ともにカーショップに併設というスタイル。3軒目となる足立店は初の独立店舗です。敷地面積は360坪。大きなスペースを持つため、快洗隊中川店・一宮店と同様にセルフ洗車を併設しています。交差点の角に面しているため、見つけやすく目立ちます。また出入り口が3カ所にあるため、お客様が快洗隊・セルフ洗車どちらを利用される場合にも非常に入りやすい店舗です。



環七(かんな)の通称で広く知られる幹線道路は、東京23区内を環状に廻る一般道。交通量が非常に多い通りに面しています。



快洗Wing2台と快洗FIT-W1台の計3台を設置。



お車の仕上げスペースは7台分完備。



コーティングと磨きの専用ブースは2台分。

あなたの車を美しく、ただ、そのために

カーコーティングと洗車のプロショップ

OPEN NOW!

03-5647-2375

カーコーティング 20%OFF

WASH 快洗隊 足立店



セルフ洗車は、拭き上げなしでもキレイに仕上がるWATER JET純水洗車機を1台。



掃除機と拭き上げエリアは8台分完備。広いスペースで洗車を仕上げられます。



快洗隊のセルフ洗車は手ぶらで来店しても安心。拭き上げタオルからタイヤワックスなど洗車グッズがレンタルでき、洗車道具を購入することもできます。



施工時の待ち時間やセルフ洗車で一息ついたらゲートルームでゆっくりと。

快洗隊八日市店 8月4日(火)オープン

滋賀県東近江市に快洗隊八日市店がオープンしました。旧八日市市は人口4万人、現在は東近江市として合併され、人口12万人の琵琶湖のほとりに位置しています。店舗は官庁街の真ん中、東近江市の中心にあり、大型ショッピングセンターに隣接しています。今回はアイ・タック技研(株)として初めてガソリンスタンドとの併設で快洗隊を運営します。ガソリンスタンドの運営は別会社が行い、快洗隊の運営は当社が行います。



計量器4機のセルフスタンド。灯油1機、ガソリンスタンドのセールスルームには中古車を展示し、中古車販売も力を入れます。



快洗Wing、快洗Jr.を1台ずつ導入し、コーティングブース1台分、仕上げ場4台分を確保しています。



お車の仕上げスペースは4台分完備。



コーティングと磨きの専用ブースは1台分。



ゆっくりくつろげるゲートルームでは、インターネット使い放題、雑誌や漫画も自由に読むことができます。

オープン時は、給油のお客様に、当たりが出るとキーパーコーティングが無料になるキャンペーンを実施。洗車を安くするのではなく、抽選で「タダ」という思い切ったオープンイベントは非常に好評でした。

八日市店ではメール会員、車番認証などシステムを導入するなど、カーケア・洗車利用のお客様の顧客管理を徹底して行います。スタッフの高いスキルを駆使し、給油のお客様とのコミュニケーションの中でチャンスを生みだしていきます。ガソリンスタンド併設店ゆえに、洗車に対する敷居は低く、利用するお客様が多いはず。快洗隊というコーティングの信頼をキチンと活かしてお客様のライフサイクルにあったコーティングライフを提案していきます。

快洗隊八王子店 8月6日(木)オープン

東京都八王子市に快洗隊八王子店がオープンしました。カーショップ「カレッツァ」に併設されています。少し小ぶりな店舗ながら、お客様に満足していただくために装備は充実しています。八王子店の目玉はコーティングファクトリー。コーティングと磨きの専用ブースが2台分あり、完全密閉されています。ここ八王子店はカーショップに来店されるお客様も、車を駐車場に止めて歩いて気軽に来ていただくことができます。施工はもちろん、商品の説明やお問合せだけのお客様もオープンからたくさん来店いただいております。



カーショップの駐車場に設置されたコーティングショップは存在感があり、目を引きます。



1台はプランのない手洗い専用機(ロボ)。車に付いた埃や泥がロボの高圧水で汚れを落とし、柔らかい泡で洗うことができます。もう1台は快洗Jr.200。



コーティングと磨きの専用ブースが2台分。完全密閉されており、キレイに磨き上げることができます。



お車の仕上げを行うスペースは、風の影響を極力減らすため、囲まれた空間で作業ができます。6台分完備。



「アメリカンカフェ」のような雰囲気のあるゲートルーム。作業を見ながらお待ちいただけます。引き渡しはこの場所で行い、愛車をお客様に確認していただきます。



金曜日の夜、仕事を終え、帰宅してからカレッツァを訪れるお客様で駐車場が埋まります。快洗隊八王子店も、金曜日の夜はフライデーナイトフィーバー!



快洗隊は午後8時閉店。カレッツァは午後10時閉店。夜は、お客様のラッシュで、8時を過ぎてても、まだまだスタッフが忙しく動き回っています。

オリバー・カーンの時代 その6



関係ない。オレが全部止めればいいんだ

カーンが所属していたFCバイエルン・ミュンヘン、世界的なビッグクラブである。1900年創設という今年で109年の歴史を刻む、ドイツ・ブンデスリーガの顔ともいえる人気と実力を誇るクラブだ。

現在のクラブ会長は皇帝と呼ばれたフランツ・ベッケンバウアー、クラブ社長はミスターヨーロッパと呼ばれたカール・ハイツェルである。ついでに、2006年ドイツワールドカップのドイツ代表監督だったユルゲン・クリンズマンはバイエルンの選手だった。

その皇帝ベッケンバウアーは「強い方が勝つのではない、勝った方が強いのだ」と

言い、その言葉通り、西ドイツ代表のキャプテンとして世界一になった。そして引退した後、今度は西ドイツ代表監督として世界一を勝ち取っている。

あまりにも勝負強いドイツは、サッカーの母国イングランドの代表選手でワールドカップ得点王の経歴を持つガリィ・リネカーをして「サッカーとは22人で試合をし、最後はドイツが勝っているスポーツだ」と言わしめた。

「この世で怖いものは戦争とカーンです」と言ったのは、ドイツ代表でバイエルンの選手だったメーメット・ショルという天才ミッドフィールダーだ。カーンより2歳若い。試合中に後ろから聞こえるカーンの叱咤の声がよ

ど怖かったのだろうか。選手が選んだ名言は、実によく選手の人となりを伝えるものだと思う。

我々がカーンは、2002年ワールドカップで、審判がドイツに不利な笛を吹くのではと質問されてこう答えた。

「関係ない、オレが全部止めればいいんだ」

うーん、カッコいい。

こんなことも言っている。

「バイエルンにとって試合は一つしかない。それは勝つための試合だ。それ以外はない」

バイエルンのサポーターはどれほど嬉しかったことだろう。その気持ちが私には手にとるようにわかるのである。